

(承認申請用)

平成 29 年度～平成 31 年度 社会福祉法人いなほ会
社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 いなほ会		法人番号		4360005002563	
法人代表者氏名	理事長 新垣 元武					
法人の主たる所在地	沖縄県中頭郡中城村字添石 363 番地					
連絡先	TEL ; 098-895-4407 FAX ; 098-895-5158					
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	意見聴取なし					
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成 29 年 5 月 25 日（木）					
評議員会の承認年月日	平成 29 年 6 月 22 日（木）					
会計年度別の社会福祉 充実残額の推移 （単位：千円）	残額総額(平成 28 年度末現在)	1 か年度目(平成 29 年度末現在)	2 か年度目(平成 30 年度末現在)	3 か年度目(平成 31 年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	95,780	68,888	33,910	0		0
	うち社会福祉充実 事業費(単位:千円)	▲26,892	▲34,978	▲33,910	▲95,780	
本計画の対象期間	平成 29 年 8 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日					

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費 (単位:千円)
1 か年度目	職員処遇改善	社会福祉事業	既存	毎月の処遇改善手当て及び賞与の一時金を支給	無	13,300
	職員研修支援	社会福祉事業	既存	職員の自己学習及び研修支援として書籍を配布する。	無	202
	施設設備整備	社会福祉事業	既存	・自動ドアの設置 ・ウォシュレットの設置	有	13,390
	小 計					26,892

2 か年 度目	職員処遇改善	社会福祉 事業	既存	毎月の処遇改善手当及び賞与の 一時金を支給	無	24,850
	職員研修支援	社会福祉 事業	既存	職員の自己学習及び研修支援として 書籍を配布する。	無	201
	職員処遇改善	社会福祉 事業	既存	介護用ロボットの導入	無	9,927
	小 計					34,978
3 か年 度目	職員処遇改善	社会福祉 事業	既存	毎月の処遇改善手当及び賞与の 一時金を支給	無	25,710
	職員研修支援	社会福祉 事業	既存	職員の自己学習及び研修支援の 書籍の配布	無	200
	施設設備整備	社会福祉 事業	既存	駐車場のバリアフリー工事の実施	有	8,000
	小 計					33,910
合 計						95,780

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益 事業（小規模事業）	1、当法人に在籍し社会福祉事業に従事する職員の内、介護保険法における処遇改善加算の支給を受けない職員（介護職員以外の職員）の手当て支給を実施するとともに、正職員と支給率に格差がある契約職員（社会福祉事業従事者）の賞与を一部補充することとした。 2、職員の自己学習及び研修支援として、業務関連書籍及び DVD を配布することとした。 3、職員の処遇改善の一環として、介護用ロボットを導入する。 4、ご利用者並びに来訪者に対してバリアフリーを目指し、自動ドアの設置を行う。 5、ご利用者の処遇の向上を目指し、ウォシュレットの導入を行うこととした。 6、地域のご利用者及び職員が使用する駐車場（基本財産）をバリアフリー化する。
② 地域公益事業	①の取組を実施する結果、残額が生じないため実施しない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取組を実施する結果、残額が生じないため実施しない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1 か年度目 (単位:千円)	2 か年度目 (単位:千円)	3 か年度目 (単位:千円)	合計 (単位:千円)
職員処遇 改善事業	計画の実施期間に おける事業費合計	13,300	34,777	25,710	73,787

	財源構成	社会福祉 充実残額	13,300	34,777	25,710	73,787
		補助金				
		借入金				
		事業収益				
		その他				

事業名	事業費内訳		1 か年度目 (単位:千円)	2 か年度目 (単位:千円)	3 か年度目 (単位:千円)	合計 (単位:千円)
職員研修支 援	計画の実施期間に おける事業費合計		202	201	200	603
	財源構成	社会福祉 充実残額	202	201	200	603
		補助金				
		借入金				
		事業収益				
		その他				

事業名	事業費内訳		1 か年度目 (単位:千円)	2 か年度目 (単位:千円)	3 か年度目 (単位:千円)	合計 (単位:千円)
施設設備 整備事業	計画の実施期間に おける事業費合計		13,390	0	8,000	21,390
	財源構成	社会福祉 充実残額	13,390	0	8,000	21,390
		補助金				
		借入金				
		事業収益				
		その他				

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	職員処遇改善事業
主な対象者	当法人に在籍し社会福祉事業に従事する正職員及び契約職員
想定される対象者数	170 人
事業の実施地域	法人
事業の実施時期	平成 29 年 8 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日

事業内容	<p>1、当法人に在籍し社会福祉事業に従事する職員の内、介護保険法における処遇改善加算の支給を受けない職員（看護職・リハビリ職・ケアマネ・相談員・事務職等の介護職員以外の職員）への手当での支給と正職員と支給率に格差がある契約職員（社会福祉従事者）の賞与を一部補足支給する。</p> <p>2、職員の業務負担を軽減することを目指し、特別養護老人ホーム春華園及び介護老人保健施設信成苑等の社会福祉施設に、入浴介助用ロボットや移乗動作軽減用ベッド等の介護用ロボットの導入を行う。</p>	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	職員 100 人の処遇改善手当と契約職員 70 人の賞与の補足支給
	2 か年度目	<p>1.職員 100 人の処遇改善手当と契約職員 70 人の賞与の補足支給</p> <p>2.介護用ロボットの導入</p>
	3 か年度目	職員 100 人の処遇改善手当と契約職員 70 人の賞与の補足支給
事業費積算 (概算)	<p>1、職員 100 人×14,000 円～15,000 円×32 ヶ月分 = 44,800 千円～48,000 千円</p> <p>2、契約職員 70 人×5 回の賞与で補足給付 = 10,000 千円～15,860 千円</p> <p>3、介護用ロボットの導入 = 9,927 千円</p>	
	合計	73,787 千円（うち社会福祉充実残額充当額 73,787 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	なし	

事業名	職員研修支援事業	
主な対象者	当法人に在籍し社会福祉事業に従事する正職員及び契約職員	
想定される対象者数	210 人	
事業の実施地域	法人	
事業の実施時期	平成 29 年 8 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日	
事業内容	<p>当法人に在籍し社会福祉事業に従事する職員（正職員・契約社員）に対し、自己学習及び研修支援を行い、スキルアップと働き甲斐を感じると共に福祉サービスの質の向上へつなげる事を目的に、書籍を随時無償配布する。また、福祉サービス事業所に研修支援用の DVD を配布する。</p>	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	下記 1 及び 2 を随時配布
	2 か年度目	下記 1 及び 2 を随時配布
	3 か年度目	下記 1 及び 2 を随時配布
事業費積算 (概算)	<p>1、介護・医療に関する 500 円～5,000 円の書籍 300 冊</p> <p>2、介護・医療に関する 2,000 円～5,000 円の DVD 50 枚</p>	
	合計	603 千円（うち社会福祉充実残額充当額 603 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	なし	

事業名	施設設備整備事業	
主な対象者	当法人の社会福祉サービスをご利用いただく方及び当法人の社会福祉に従事する職員	
想定される対象者数	500 人～1,000 人	
事業の実施地域	法人	
事業の実施時期	平成 29 年 8 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日	
事業内容	<p>1、ご利用者並びに来訪者の利便性と安全性を向上させ、福祉サービスの一層の充実を図るため、特別養護老人ホーム春華園及び介護老人保健施設信成苑の玄関ドアに新たに自動ドアを設置する。</p> <p>2、ご利用者のケアの質を向上させサービスの充実を図ることを目指し、特別養護老人ホーム春華園及び介護老人保健施設信成苑等の社会福祉施設のトイレにウォシュレットを設置する。</p> <p>3、ご利用者並びに来訪者、職員の安全の確保並びに利便性の向上を図り、福祉サービスを一層使いやすいものとするため、既存駐車場をバリアフリー仕様にする。</p>	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	<p>1、自動ドアの設置</p> <p>2、ウォシュレットの設置</p>
	2 か年度目	なし
	3 か年度目	駐車場のバリアフリー工事
事業費積算 (概算)	<p>1、自動ドア及びシャッター設備導入費用；8,120 千円</p> <p>2、ウォシュレット設備；5,270 千円</p> <p>3、駐車場のバリアフリー工事；8,000 千円</p>	
	合計	21,390 千円（うち社会福祉充実残額充当額 21,390 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	なし	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

※ 6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

--